

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 27年												平成28年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	33	15	15	9	13	9	15
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	54	38	27	21	42	20 (22)	38
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	5	3	2	2	2	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	9	5	4	5	4	5 (6)	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	4	3	2	2	3	2	5
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	1	1	0	2	6	4	9
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	8	5	6	1	3	5	7

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第7週(2月15日~2月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5	1		1	1	1	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類全数	7	アメーバ赤痢	1	1						
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1	
		急性脳炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		梅毒	2			1				

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第7週 2/15~2/21)

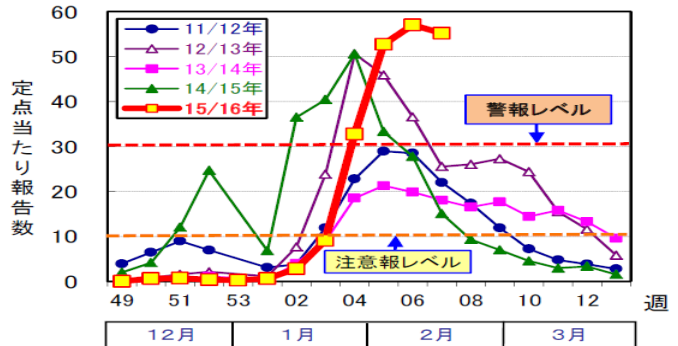
広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供
インフルエンザの流行状況

1. インフルエンザ

定点当たり55.2人と、依然警報レベル(定点当たり30.0人)を大きく超え、多い状況が続いています。
また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第7週は76件の報告があり、今シーズンの累計は302件となりました。
なお、第7週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が132人、B型陽性が506人報告されています。
今後も流行が続くと予測されるため、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を徹底することが重要です。

2. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり7.96人と、前週と比べやや増加しました。
また、ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、基幹定点から第6週は11人、第7週は7人の報告がありました。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	2041	55.16	20.34	⇒	小児科	流行性耳下腺炎	13	0.54	0.55	
小児科	咽頭結膜熱	10	0.42	0.34		眼科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.36	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.13	1.86	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	191	7.96	8.89	⇒		流行性角結膜炎	3	0.38	0.25	
	水痘	10	0.42	1.16		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.19			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	31	1.29	0.09	⇒		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.29	
	突発性発疹	14	0.58	0.31			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	1.00		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	26	女性(60歳代)
5	急性脳炎	1	2	男性(10歳未満)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	4	女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	5	女	2016/02/07	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	40	女	2016/02/09	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	40	女	2016/02/10	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	36	女	2016/02/11	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	33	女	2016/02/12	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	0	男	2016/01/05	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱 肺炎	4	女	2016/02/04	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ
その他の消化器疾患	下痢	5	女	2016/01/07	糞便	アデノウイルス2型